

大切な お母さんへ

今はスヤスヤ眠ってるけど、朝起きたらまた苦しくてうなるんだろぅな…。

一番苦しいのはお母さんだけど。その苦しそうな顔を見ているのは辛いよ。

人一倍働き者だったお母さん。明けても暮れても家族のことばかり。自分の時間なんか無かったよね。

これからゆっくりしようと思ったら病魔がおそってきた。

入院しても、病室でひとり気丈にふるまってたね。

病室へ持ち込んでいたものの中に、舟木一夫さんに宛てた手紙があった。

舟木一夫さんに歌ってもらいたいという作品（詩）をしたためていて、病室でも歌ってたね。いつか舟木さんに渡すね！！

引き出しの中には、私たち（子）への手紙。これだけで充分、母の愛情が伝わってくる。

人生、何が起ころかわからないから、お母さんの詩にもあった、一日一日を大切に常に体をいたわってしっかりと生きていこう。苦労ばかり掛けたよね。おまけに親孝行らしいことできてない。まだまだ元気でいてくれると思ってたから…。

聞こえてるかな、届いてるかな。元気な時は照れくさくて言えなかった言葉。

大好きだよ、お母さん。

限られた時間、精いっぱい之恩返しをしよう。

：数日後、紅葉が一番きれいな時を迎えた中、旅立ってしまったお母さんへ。

楽しい時間をありがとう。お母さんありがとう。

天国でお父さんとゆっくりね。